

Chemins Croisés



本橋成一 《羽幌炭鉱 北海道 羽幌町》(炭鉱)より 1968年 © Motohashi Seiichi

本橋成一と
ロベール・ドアノー

交差する物語

2023.6.16|金|—9.24|日|

東京都写真美術館 2階展示室 [恵比寿ガーデンプレイス内]

開館時間: 10:00–18:00(木・金は20:00まで) 入館は閉館の30分前まで

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝休日の場合開館、翌平日休館)

観覧料: 一般800円 / 学生640円 / 中高生・65歳以上400円

※小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名様まで)は無料

※各種割引の併用はできません。

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

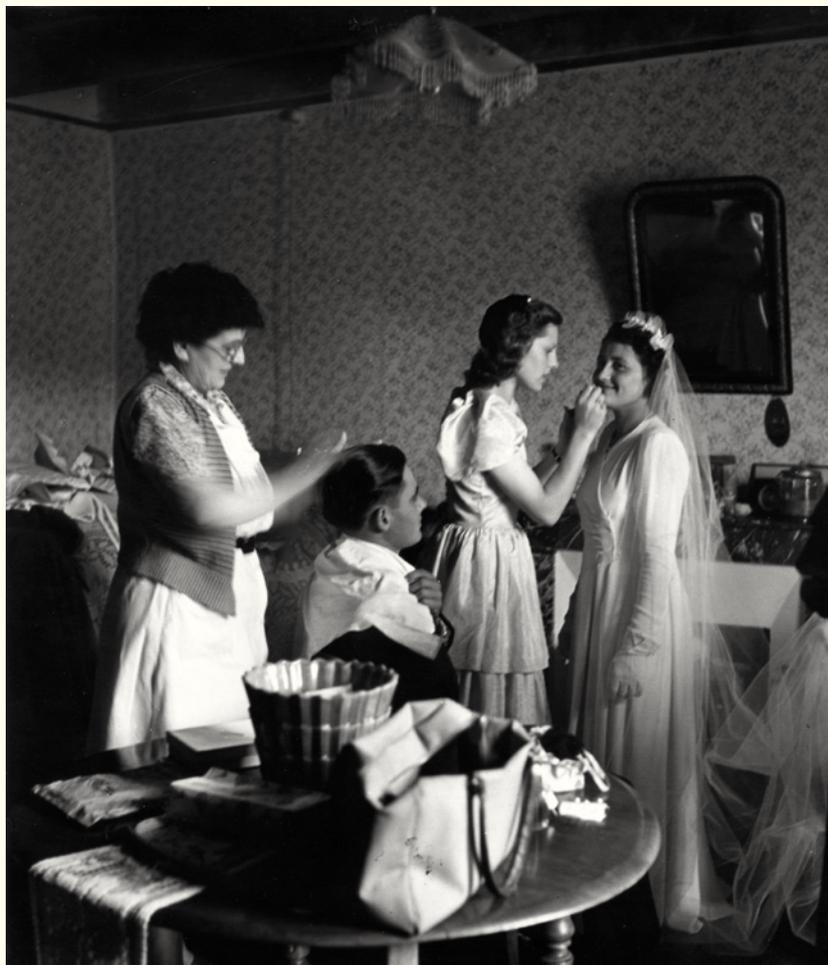
後援: 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、J-WAVE 81.3FM

助成: 公益財団法人花王芸術・科学財団

協賛: 東京都写真美術館支援会

特別協力: アトリエ・ロベール・ドアノー、コンタクト、ポレポレタイムス社

本展はオンラインによる日時指定予約を推奨いたします。事業は諸般の事情により、変更することがございます。最新情報は当館ホームページでご確認ください。



ロベール・ドアノー 《4本のヘアピン、サン・ソヴァン》1951年 © Atelier Robert Doisneau / Contact



公益財団法人 花王 芸術・科学財団

TOP MUSEUM

Motohashi Seiichi and Robert Doisneau



1



2



3

写真や映像は、相手に対する想いとイマジネーションだ。 —本橋成一

相手をこよなく愛してこそ、写真を撮ることが許されるのだ。 —ロベール・ドアノー



4



5



6

本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語

このたび東京都写真美術館では「本橋成一とロベール・ドアノー 交差する物語」展を開催いたします。

本橋成一は東京生まれ、50年以上にわたり、写真と映画によって、揺れ動く社会とそこに暮らす人々の姿を記録してきました。一方ロベール・ドアノーは、パリや自身が生まれたパリ郊外を舞台として、常にユーモアをもって身近にある喜びをとらえてきました。生まれた時代・地域が異なる二人の写真家ですが、奇しくも炭鉱、サーカス、市場など、同じテーマによる優れたルポルタージュを残しています。そして、それぞれに第二次世界大戦による混乱を経験した二人は、慎ましくも懸命に生きる人々の営みの中に、力強さと豊かさを見出し、失われゆく光景とともに写真に収めてきました。

多くの対立、紛争の絶えない現代において、人間に対する際限のない愛情と好奇心が生み出す視線、そしてユーモアや優しさをもって現実や社会と関わった二人の写真家によって編み出される物語を通して、生きることの豊かさについて考える機会となれば幸いです。

本橋成一 | Motohashi Seiichi

1940年東京・東中野生まれ。1960年代から市井の人々の姿を写真と映画で記録してきた写真家・映画監督。1968年「炭鉱〈ヤマ〉」で第5回太陽賞受賞。以後、サーカス、上野駅、築地魚河岸などに通い撮影し発表。写真集『ナージャの村』で第17回土門拳賞、映画「アレクセイと泉」で第12回サントペルブルグ国際映画祭グランプリを受賞するなど国内外で高い評価を受けている。

ロベール・ドアノー | Robert Doisneau

1912年パリ郊外のジャンティイ生まれ。エコール・エスティエンヌで石版を学び、写真家アンドレ・ヴィニョーの助手となる。自動車会社ルノー社のカメラマンなどを経て、1939年フリーとして活動を開始。特にパリの庶民たちの日常をとらえた写真で高い評価を得て、ニエプス賞（1956年）、フランス国内写真大賞（1983年）など受賞多数。1994年逝去（享年82歳）。

1. 本橋成一（築地市場 東京）1984年
2. 本橋成一（上野駅 東京）1980年
3. 本橋成一（木下サーカス 東京 二子玉川園）1980年 © Motohashi Seiichi
4. ロベール・ドアノー（エペール広場の子どもたち、パリ）1945年
5. ロベール・ドアノー（ラリー・アドラーと彼のハーモニカ、パリ）1946年頃
6. ロベール・ドアノー（リヴォリ通りのスモックたち）1978年 © Atelier Robert Doisneau / Contact

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Tel. 03-3280-0099 www.topmuseum.jp
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分
当館には駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。